

■パブリックコメントの結果について

1. 実施期間 令和8年2月12日(木)～令和8年2月18日(水)
2. 意見提出者 市内に住所を有する者(事案に利害関係を有する方を含む):3名
3. 意見の趣旨及び市の考え方

番号	意見の要旨	市の考え方
1	P.5の人口ビジョンの根拠は。	本計画(案)P.5に掲載の「人口の動向(淡路市人口ビジョン)」は、国勢調査における人口の動向や、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口等を基に作成し、その根拠としています。
2	令和2年以降の社会変化が取り入れられていないのでは。	本計画(案)には、令和2年以降の社会情勢の変化を踏まえたものとして記載しています。
3	今回の計画は財政支援を受けるために策定するものであり、市民に意見を求める必要はないのでは。	この計画は、財政支援を受けるために策定する計画ですが、本市では、人口減少や少子高齢化の進行など、他の地域と比較して厳しい社会情勢が続いている。こうした本市の現状やその対策について、市民の皆様から幅広くご意見をいただくことは、重要であると考えています。
4	人口規模に対し、公共施設が多いため、統廃合を検討すべき。	公共施設の統廃合につきましては、財政負担の軽減や平準化を図り、持続可能なまちづくりに取り組むための重要な課題であると認識しています。貴重な意見として、公共施設の統廃合につきましては、引き続き、公共施設等総合管理計画との整合性を図りつつ、検討してまいります。
5	P.17の基本目標2について目標値が現状よりも悪化している。	P.17の基本目標2につきましては、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口における令和13年度の見込みを踏まえて設定しておりましたが、計画の各種事業の取組により、現在策定している計画の目標値である人口数値を維持するために、目標値を現状維持としました。

6	P.31 の株さの小の事業は完了しているのではないか。	既に事業が完了しておりますので、この計画から削除します。
7	過疎地域の持続的発展には、日常の生活圏を維持し、地域循環型経済の構築を目指すことが不可欠である。	貴重なご意見であり、本計画は旧小学校区単位のような「日常の生活圏」を維持するための事業も含んでいますので、事業を着実に推進していきます。
8	就業構造の増加などから見えてくる「発展の可能性の芽」を見出して、政策を立案すべきである。	貴重なご意見として、今後の計画において参考とさせていただきます。
9	「日常の生活圏」である旧小学校区単位で政策を立案・実行できる市民が必要であり、市は、その担い手育成のための施策を明確にする必要がある。	貴重なご意見として、今後の計画において参考とさせていただきます。